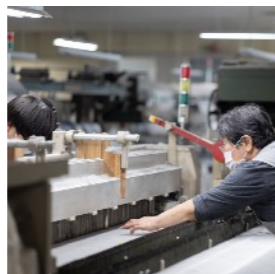
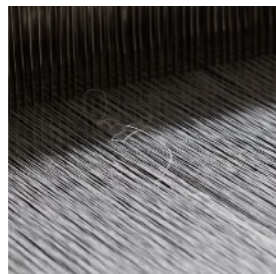


麻は生地になってしまえば強靱ですが、糸の段階ではとても繊細なもの。製織中に糸が切れてしまったら直ちにその場所を突き止め、補修します。職人の卓越した技があってはじめて上質な麻織物が生まれます。



快眠屋の近江ちぢみにはヨコ糸に80番手、タテ糸に60番手の細めのラミー麻糸を使っています。細い糸を使うことで生地になやかさが生まれ、太い麻糸の近江ちぢみに比べると肌に優しい風合いに仕上がるのです。



のが、滋賀の麻工場に直接依頼してオリジナルの本麻近江ちぢみを織ってもらい、出来上がった製品を全量買取する取り組みでした。メーカーから1枚単位で商品を仕入れるのはワケが違い、在庫をドカンと大量に抱えることになるのでうちのような零細企業にとっては小さくないリスクです。製品が仕上がるまでには色々と問題が起こったりもします。でもこういったリスクを負うことで大幅に価格が安くなるわけです。案の定、今年も麻糸が手に入らなくなる危機に見舞われたり、度重なる原料高騰で工場からガツンと値上げを提示されたりと色々ありましたが、なんとかオリジナル本麻近江ちぢみを織り上げ、クルパッドシートとクールケットを完成させることができました。6月末までは夏先取り割としてさらにお得にお買い求め頂けますので、ぜひ今年の夏は我々の本麻近江ちぢみでお過ごしください。

麻工場に織ってもらおう
オリジナル近江ちぢみ

近江ちぢみの中でも、麻10%のものを本麻近江ちぢみと呼びます。近江ちぢみの高い通気性と、麻の優れた吸放湿性が組み合わせられた本麻近江ちぢみは別格の心地よさで、これこそ夏の決定版とも言える清涼感が得られます。この自然な快適さは、化学繊維の寝具には真似できません。ぜひ多くの方にお使い頂きたい寝具です。

ですが本麻近江ちぢみは高級品。例えば大手寝具メーカーの商品ともなると、シングルの敷パッドで4〜5万円ほど。以前は我々もこのような商品を仕入れて販売していましたが、これではなかなか手が出ません。そこで少しでも多くの方に本麻近江ちぢみを使って頂けるようにと5年前にスタートさせた